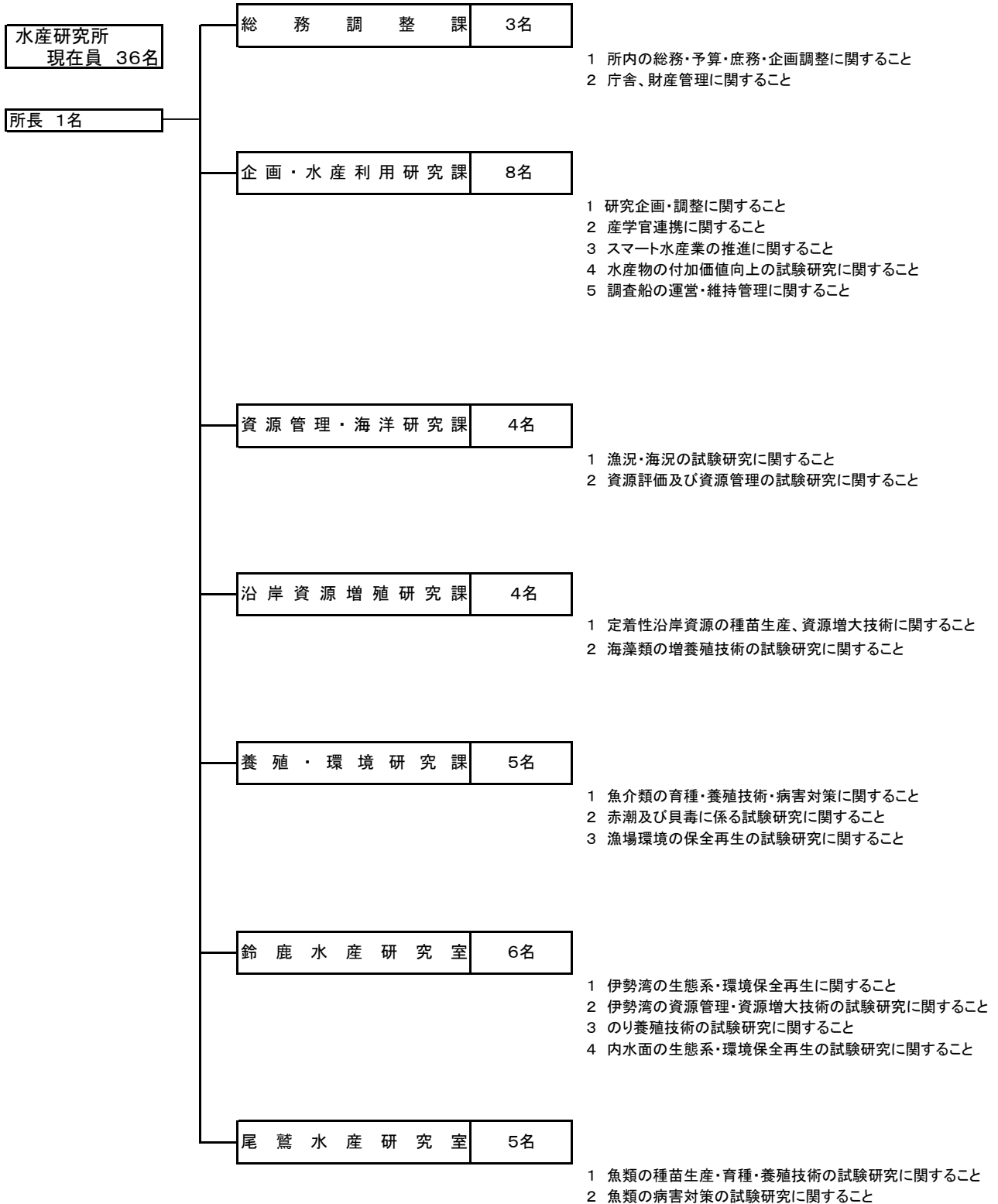


令和8年度

組織・人員配置等 事業概要

三重県水産研究所

令和8年度 水産研究所組織体制と事務分掌



令和8年度 水産研究所 事業概要

県単試験研究費

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●水産関係県単経常試験研究費			
① 【新規】イセエビ資源安定化技術確立事業	イセエビのプエルルス幼生来遊量と漁獲への加入資源量の関係を解明し、イセエビ資源管理の高度化を図るとともに、稚エビを放流サイズまで安定飼育する技術を確立することにより、イセエビ資源の安定化に資する。	沿岸資源増殖研究課	R8~R10
② 志摩海域養殖漁場環境調査	英虞湾及びびの矢湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、アコヤ養殖環境情報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市委託】。	養殖・環境研究課	R5~
③ 内水面漁場環境調査事業	内水面漁業において最も重要な魚種であるアユを対象に、餌料環境調査、冷水病等の魚病及びカワウによる食害防止対策の情報収集と普及に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
④ 【新規】未利用食材を活用した新たなブランドマダイの開発	養殖マダイの付加価値向上に向け、未利用食材を飼料添加し、新たなブランドマダイの養殖技術を開発する。	尾鷲水産研究室	R8~R10

競争的資金等外部資金

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・水産利用研究課	H17~
② 志摩市沿岸藻場調査事業	志摩市沿岸における藻場減少による沿岸漁業の漁獲量減少に対応するため、仕切り網を用いた植食性魚類の防除による藻場回復効果を検証するとともに、藻場減少海域でも比較的漁獲が維持されているサザエの種苗放流効果を調査する【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	R5~
③ 青さのり養殖に関する技術開発事業	志摩市の重要産業であるヒトエグサの養殖について、安定生産につながる養殖技術の高度化に係る試験研究を行う【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29~
④ みえの貝類養殖における海洋酸性化に関する調査研究事業	近年、世界的な規模で海洋酸性化が進み、貝類養殖への影響が懸念されていることから、三重県のカキやアコヤガイ養殖漁場における海洋酸性化に関する調査を行い、海洋酸性化への効果的な適応策と実践体制の提案につなげる【日本財団委託】。	養殖・環境研究課	R5~
⑤ 鳥羽海域カキ養殖漁場環境調査事業	鳥羽海域のカキ養殖漁場において、漁場環境をモニタリングするとともに、得られた環境情報を養殖業者等に提供することにより、漁業被害の未然防止や軽減を図る【鳥羽市委託】。	養殖・環境研究課	R3~

競争的資金等外部資金(続き)

事業名	事業概要	担当	実施年度
⑥ 漁場環境改善推進事業	伊勢湾における栄養塩等の環境変化が動物プランクトン等の低次生態系に与える影響の把握及び窒素供給源の把握のための調査を行う【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
⑦ 画期的形態異常防除技術を用いたハタ類の低コスト養殖技術開発事業	マハタ種苗の形態異常を低減して生産効率を高めるため、国の水産技術研究所等とともに、新たな形態異常防除技術の開発や、成長効率を改善する増肉改善技術の開発に向けた実証試験を行う【生物系特定産業技術研究支援センター委託】。	尾鷲水産研究室	R6~R8
⑧ マハタ優良種苗生産研究事業	優良なマハタ種苗の生産に向けて、尾鷲栽培漁業センターが行う量産スケールでの仔魚期の成長・生残等の調査・解析を行うとともに、親子判定技術を用いて成長等の優れた形質を持つ親魚を探索する【三重県水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	R8
⑨ 【新規】メイチダイの持続可能な漁業に向けた資源生態に関する研究費	メイチダイの年齢査定を行うとともに、体長及び体重との関係性を調べることで、メイチダイの資源動向を把握するための基礎データを取得【岡三加藤文化振興財団助成金】。	資源管理・海洋研究課	R8
●資源評価調査事業費 ① 資源評価調査事業	日本周辺及び本県沿岸における重要水産資源の資源評価や資源動向の予測、最適な資源管理手法の検討のため、国や関係都道府県と連携して、海洋環境や漁獲実態等の調査を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課 /沿岸資源増殖研究課 /鈴鹿水産研究室	H12~
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類は国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H13~
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費 ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視及び長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。	養殖・環境研究課	R5~

管理費等

事業名	事業概要	担当	実施年度
●水産業試験研究管理費 ① 水産業試験研究管理費	水産研究所の管理運営を行う。	総務調整課	R8
●水産業研究施設機器整備費 ① 水産業研究施設機器整備費	水産研究所の施設や機器の整備を行う。	総務調整課	R8

水産資源課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業3-4-1) 食品と生活衛生営業施設等の衛生確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費			
① 養殖衛生管理体制の整備	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室	R8~R10
② 水産物の安全の確保	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	R8~R10
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●遺伝情報を活用した育種による養殖の成長産業化事業費			
① 遺伝情報を活用した育種による養殖の成長産業化事業	近年急速に進む高水温化等により生産量の減少が問題となっている真珠、青さのり及びマハタ養殖において成長産業化を実現するため、遺伝情報を活用した育種に取り組む。	沿岸資源増殖研究課/養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	R7~R9
●新たなマガキ養殖による浜の活力再生事業費			
① 新たなマガキ養殖による浜の活力再生事業	養殖マガキの大量へい死対策のため、三倍体種苗の最適な養殖方法や種苗生産技術の開発、餌の豊富な伊勢湾での中間育成の実証に取り組む。	養殖・環境研究課	R7~R9
●真珠産業における生産から販売までオール三重体制強化事業費			
① 三重県真珠振興計画推進事業	県産真珠の生産量の増大に向け、アコヤガイ稚貝を秋季に供給し、生残率の向上やへい死のリスク分散を図る。	養殖・環境研究課	R8~R10
●漁場生産力向上対策事業費			
① 漁場生産力向上対策事業	黒ノリ生産量の回復のため、伊勢湾沿岸域で栄養塩類調査と自動観測パイによる水質調査を行い、漁場の栄養塩類情報や「色落ちアラート」の配信に取り組む。また、伊勢湾における持続的な生物生産に必要な栄養塩類濃度を明らかにするため、数値モデル解析を行う。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
●環境変化に対応するノリ品種の作出・普及事業費			
① 環境変化に対応するノリ品種の作出・普及事業	環境変化による黒ノリ養殖業の生産性低下に対応するため、生長が早く短期間で収穫できる高成長品種の作出、普及を図る。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
●藻類養殖の適正化対策事業費			
① 藻類養殖の適正化対策事業	漁場別の食害生物の把握と防除方法の検討、県漁連や漁協が養殖業者と連携して実施する食害の防除活動に対する支援を行う。共同加工体制の導入に向けた生ノリ保存・加工技術の開発を行う。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
●無給餌飼育による魚類養殖の効率化事業費			
① 無給餌飼育による魚類養殖の効率化事業	高水温環境における魚病被害の低減及び飼料コストの削減を図るため、養殖魚の生理状態と飼育環境に応じて適切な「無給餌期」を設ける、新たな養殖方法の確立に向けた実証に取り組む。	尾鷲水産研究室	R7~R9
●「シン層飼育」による持続可能な魚類養殖の実証事業費			
① 「シン層飼育」による持続可能な魚類養殖の実証事業	気候変動に伴う高水温化により増加している魚病被害の軽減等を図るため、水温が低い、深い水深での魚類養殖技術の確立に取り組む。	尾鷲水産研究室	R6~R8

水産資源課執行委任(続き)

事業名	事業概要	担当	実施年度
●高水温化等に伴う養殖新魚種導入事業費 ① 【一部新】高水温化等に伴う養殖新魚種導入事業	魚類養殖の経営改善や新たなブランド魚の創出による地域活性化に向け、養殖期間が短く、付加価値が高いマサバやカワハギの養殖技術の開発に取り組む。また、高水温に強い新たな魚種導入の検討を進める。	尾鷲水産研究室	R5~R8
●環境変化に対応した海女漁業推進事業費 ① 環境変化に対応した海女漁業推進事業	海女漁業が高水温化などの海洋環境の変化に対応して存続できるよう、サザエ及びサガラの種苗生産やアワビの放流等の技術開発に取り組む。	沿岸資源増殖研究課	R6~R8
●イカナゴ等重要資源調査・種苗生産事業費 ① イカナゴ等重要資源調査・種苗生産事業	イカナゴの資源回復を図るため、イカナゴの資源動向調査及び他海域の親イカナゴを用いた採卵技術の開発と種苗生産試験を実施する。また、イカナゴ以外の重要水産資源の資源評価のための調査やその結果に基づく資源管理方策の提案を行う。	鈴鹿水産研究室/尾鷲水産研究室	R4~R8
●アサリ等二枚貝類資源の回復対策事業費 ① アサリ等二枚貝類資源の回復対策事業	アサリ、ハマグリ等の資源回復を図るため、種苗生産した稚貝の放流効果の把握や放流技術の向上のための調査を実施する。	鈴鹿水産研究室	R4~R8

水産基盤整備課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-3) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築			
●県単沿岸漁場整備事業費 ① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査	浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の蟄集状況等を調査する。	資源管理・海洋研究課	H24~
② 【新規】イセエビ資源の加入機能強化実証調査	イセエビのプエルルス幼生の着底基質及び稚エビへの餌料生物供給の役割を果たす藻場が減少しているため、前事業で得た基礎的知見に基づき、実際に漁場に造成された人工礁に人工海藻(コレクター)とカキ殻を設置し、プエルルス幼生の着底効果と餌料生物の付着促進効果を実証する。	沿岸資源増殖研究課	R8~R10
③ ホンダワラ類を用いた藻場造成技術の開発	植食性魚類による食害のため藻場が消失した海域において、食害に遭う可能性が低いと考えられるホンダワラ類を用いた藻場造成技術を開発する。	沿岸資源増殖研究課	R7~R9
④ 藻場モニタリング事業	定期的な藻場のモニタリング調査により、藻場の増減の状況を把握するとともに、環境要因等との関係を解析し、藻場造成のための基礎的知見を得る。	沿岸資源増殖研究課	R3~
⑤ 伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業	伊勢湾におけるアサリ資源の回復を図るため、アサリの減少要因の把握や増殖技術の開発等に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R8